



公立大学法人

宮城大学

MIYAGI UNIVERSITY

JCHO仙台病院・宮城大学 連携・協働構想

令和5年6月13日

宮城大学看護学群
看護学群長 高橋 和子

宮城県における地域課題

地域医療体制の課題

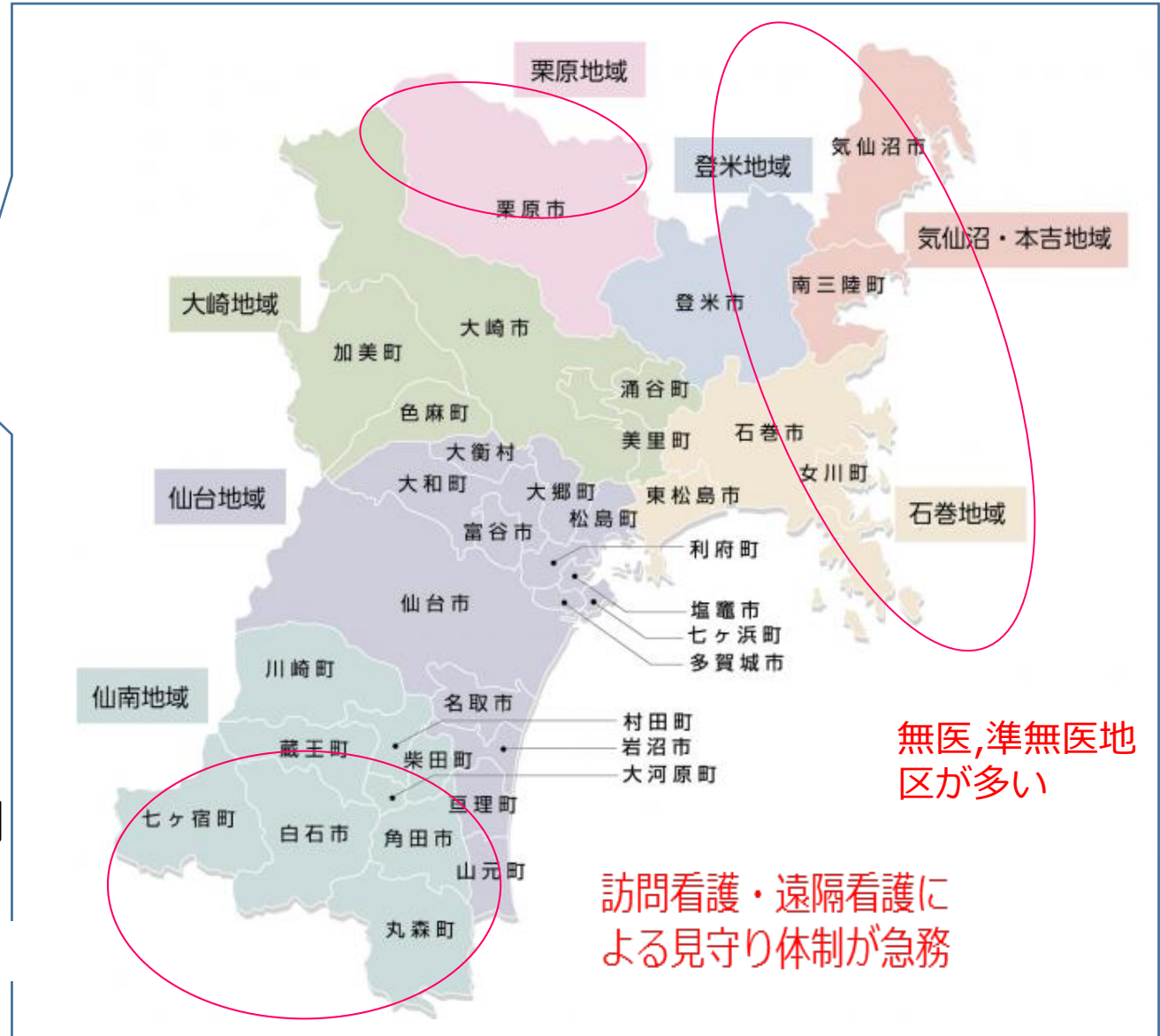
- 人口減少と超高齢化の加速、医療体制の偏在・格差による**在宅医療・訪問看護の需要増と医療人材の不足**



- 震災やコロナ禍によるコミュニティ分散に伴う**新たな健康課題への対応**

看護継続教育における課題

- 地域包括ケアシステムでの地域連携・多職種協働の強化
- 中小病院や小規模事業所における看護教育体制の不足
- コロナ禍で研修企画・運営の人員不足、時間や場所の制限
- ICTや情報リテラシーの向上



宮城大学：「地域課題を解決する研究と社会連携」「地方創生を先導しうる人材育成」

【大和キャンパス】



看護学群
看護学研究科



事業構想学群
事業構想学研究科

【太白キャンパス】



食産業学群
食産業学研究科



看護学群看護人材育成・支援事業実績（研究推進・地域未来共創センター主催）

事業名	新人看護職員研修の 新任教育担当者研修 (2016年度～現在)	看護研究指導者研修 (2016年度～現在)	看護師のためのエンド・ オブ・ライフ・ケア研修 (2017年度～現在)	新人訪問看護師育成研修 (2019年度～現在)	中間管理職 スキルアップ研修 (2016～2019年度) *コロナ禍のため一時中止
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒看護職員教育の中核となる教育担当者の教育的機能の向上を図る ・施設間交流の場を提供し、地域全体の看護職員に対する教育環境整備に寄与する 	各施設で行っている臨床看護研究を指導する看護師の指導力の向上を図る	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護、痛みや症状のマネジメント、倫理的問題など、患者・家族に必要なケアを包括的に学ぶ	新人訪問看護師と指導に関わる訪問看護師が訪問看護技術習得のための学習の場を共有することを通して、互いに気づきを深め、訪問看護師定着の一助となることを目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・自部署の課題に管理職として取り組み、解決を図るプロセスを通じて、問題解決方法を学ぶ ・他施設の同じ立場の看護職や本研修にかかわる人たちとの交流から、管理的視野を広げる
対象	宮城県内の医療機関等の新任教育担当者	宮城県内の医療機関等において看護研究を推進する指導者	医療施設・福祉施設・訪問看護等でエンド・オブ・ライフ・ケアに携わる看護師	<ul style="list-style-type: none"> ①宮城県内で訪問看護に従事2年以内の新人訪問看護師 ②宮城県内で訪問看護師育成に関わっている訪問看護師 	宮城県内の医療機関等において、看護部門責任者が推薦する中間看護管理師
方法	2月～3月に初回研修 5月～6月にフォローアップ研修 (計12時間) 講義＋グループワーク	6～12月に6回 (計22時間) 講義（＋公開講座） ＋グループワーク ＋成果発表会	6～8月の連続する2日間 (計12時間) 講義＋グループワーク	6月に初回研修 11月にフォローアップ研修 講義＋グループワーク ＋実践報告会	5月～翌年5月に8回 講義（＋公開講座） ＋グループワーク ＋実践報告会
内容	新人看護職員臨床研修制度、新人看護職員の理解、新人看護職員研修で活用する教育学の基礎知識、メンタルヘルス	看護研究のすすめ方、研究倫理、クリティーク、アカデミックライティング、プレゼンテーション、他	日本緩和医療学会の教育プログラム（ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム）	訪問看護で必要な安全・安心な看護技術の修得、シミュレーターを活用したロールプレイと実践報告	看護中間管理職の役割・機能、看護現場における目標管理の基本的なすすめ方、プレゼンテーション研修、他
実績	約100名/年	コース：20～30名/年 公開講座：のべ150名/年	30～50名/年	10～20名/年	コース：10～20名/年 公開講座：のべ150名/年

宮城大学は、地域の医療・看護の質向上に貢献することは公立大学法人としての責務であることから、2016年度より宮城大学研究推進・地域未来共創センター「看護人材育成・支援事業」を実施。地域医療・看護の方向性を見据え、現在は**4つの事業**を提供して看護職者の継続学習を支援している。

提供する研修
から協働する
企画へ

宮城大学・JCHO仙台病院共同企画

病院の看護師さんに 相談してみませんか

コロナ感染症のこと
認知症のこと
糖尿病のこと

日時：令和5年2月4日（土）
会場：多世代交流拠点「寺岡Knots」

14:00 開会あいさつ

宮城大学 金子さゆり

14:10 病院の看護師さんに相談してみませんか

JCHO仙台病院認定看護師によるミニ講義

感染管理認定看護師 西島睦子
認知症看護認定看護師 佐藤育子
糖尿病看護認定看護師 柳田美紀子

15:10 宮城大学が目指す地域と病院との連携

宮城大学看護学群教授 金子さゆり

15:20 個別相談
相談ブース

- ・感染管理認定看護師
- ・認知症看護認定看護師
- ・糖尿病看護認定看護師
- ・JCHO仙台病院（骨密度測定など）

効果的な手洗い体験
骨密度測定

15:45 閉会あいさつ

JCHO仙台病院 松邑恵美子



JCHO仙台病院・宮城大学の連携

連携・協力体制強化における双方の期待

看護実践・教育・研究面での連携や協力体制を強化することで、**看護実践や看護教育の質の向上**を図るとともに、**両者の機能の一層の向上**を図る。



独立行政法人 地域医療機能推進機構 JCHO
Japan Community Health care Organization

仙台病院

Sendai Hospital



公立大学法人

宮城大学

MIYAGI UNIVERSITY

地域医療、地域包括ケアの要として、
地域住民の多様なニーズに応え、
安心して暮らせる地域づくりに貢献

「高度な実学」に基づく 教育・研究
を推進し、地域課題の解決、地域
社会の発展に貢献できる人材を育成

包括連携協力に関する協定書

目的

本協定は、甲と乙が研究・教育活動全般における連携を推進し、地域の人々の健康に資する保健・医療の発展に寄与することを目的とする。

連携・協力事項

- (1) 教育に関する事項
- (2) 研究に関する事項
- (3) 産学連携に関する事項
- (4) 地域社会への貢献に関する事項
- (5) 施設・設備の相互利用に関する事項
- (6) その他本協定の目的を達成するために甲及び乙が必要と認める事項

包括連携協力協定による『これから』・・・地域への貢献を社会に広げる

【教育】

- ・学群臨地実習
- ・大学院生（CNSコース）の臨地実習
- ・病院職員による講義等の担当
- ・教員による看護職員研修の担当



【研究】

- ・受託研究・共同研究等の実施
- ・教員による看護職への研究指導・支援
- ・研究に関する学習会・抄読会の開催



【地域社会への貢献】

- ・地域住民への健康教育・健康相談
- ・地域住民へのICTを活用したヘルスリテラシー向上の支援、等
- ・看護人材育成・支援事業への参画

【施設・設備の相互利用】

- ・学内施設や各種教材の活用
- ・図書館等の活用

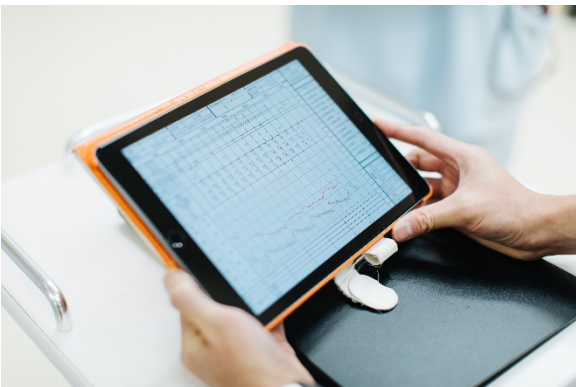


【その他】

- ・科目等履修制度の活用
- ・大学院進学（社会人入学）
- ・災害時の地域支援活動
- ・インターンシップの企画等
- ・学生ボランティア
- ・相互人材交流 など

【産学連携】

- ・専門看護師資格を有する教員等との協働
- ・地域住民や外来患者等の健康管理（ICTリテラシー向上）の支援



第3の学習の場「MYU TOWN」構想



包括連携協力協定による『看護実践や看護教育の質の向上』

今後の展開

令和5年度

2023年

令和6年度

2024年

看護学教育の展開

大学院や学群での教育展開の可能性を検討

大学院や学群での教育展開の準備

- * 看護教育DXの推進（看護基礎教育の変革・高度実践看護人材の養成）
（大学院博士前期課程・看護学群）

看護継続教育の展開

研修内容の周知
受講者募集

プログラム実施

研修内容の周知
受講者募集

プログラム実施

- * 宮城大学 研究推進・地域未来共創センター（看護人材・育成事業）の展開

協力体制強化による地域課題解決の貢献

看護教育推進への参画・協力機関の拡大による連携体制の強化

- * 地域の医療・看護、保健、福祉の課題解決に向けた協働

* 国、県、労働局、医師会、看護協会などの看護人材育成事業への参画・協働、ネットワーク強化

* 看護継続教育への補助等

目指す未来へ

協定に基づく、研究・教育活動の推進により、
双方の機能を発揮し、地元を担う関係機関・
関連組織の保健・医療・福祉の人材育成に貢献
することで、地域社会の維持・発展に寄与する。